

団長の稽古日記

「更なる進化を目指して」

団長平野恒雄に代わり、今週はますだゆみがお届けします「団長の独り言」特別編、どうぞ最後までお付き合い下さい。

劇団ふあんハウス第44回公演「ふたりのゆめ」が無事幕を下ろしてから1ヶ月半が過ぎました。

今回は新作と言う事で、幕が上がるまであれやこれや、心配なことや不安な事や様々な思いが乱れ飛んでいました。

セリフは勿論ですが、早替えが間に合うか持ち道具は忘れているか？や、私にとっては初めての小屋だったので劇場に入ってからまずは動線確認。

何せ人一倍方向音痴なので、楽屋と舞台の道筋をちゃんと頭に入れておかねば。

実は私、稽古場で通しをやった時、「出とちり」をしてみましたのです！これまで芝居をやって来て一度も無かったのに！

次の出番を勘違いして衣装を着替えに行ってしまった「知世さん！」と呼ばれてハッと気づき、本当は出ていなくてはいけない場面にいない！既に進んでいるシーンに慌てて途中から入る(汗)

あり本番でなくて良かった。イヤイヤ良くない！例え稽古でも、あつてはならない事です。夢ではよく見ましたが、まさか本当にやるとは！

そんな少しの怖さも交えて迎えた本番でしたが取り敢えず大きなミスもなく、お客様からもご好評を頂き、ほっと胸を撫で下ろしました。

毎週土日の夜には稽古。

稽古がない平日も常に役の事を考え、電車の中や、仕事中でも、ふと気づくとセリフを口にしてる(笑)

自分の感情と向き合い、頂いたダメ出しに悩みながらも役と必死に格闘する日々。

そんな長い時間をかけて追及した役でも本番は2時間余りで終わってしまう。

その2時間にどれだけ集中し、稽古してきた事を全て出し切り悔いなく演じられるのか！

その緊張と挑戦が役者の醍醐味でもあります。

そして何処までいっても答えは永遠に出ない。

だからこそずっと続けているのかもしれない。

次回は7月20日(土)21日(日)の公演が決まっています。暑さとの戦いになるのかなあ。

そう考えるとまだまだ先のようには思いますがぼっとしてはいいられません！

改めて身体と頭を整え、役と向き合い最高の舞台をお届けできるよう更なる進化を目指します！

心を込めてお届けします「ふたりのゆめ」次は板橋でお会いしましょう。